



## 目次

商圏	2
1. 画面説明	2
表示される分析結果画面	2
2. 詳細機能説明	4
①分析タブ	4
稼働率・客数	4
占有率	4
支持率	5
3. 活用方法	6



# 商圈

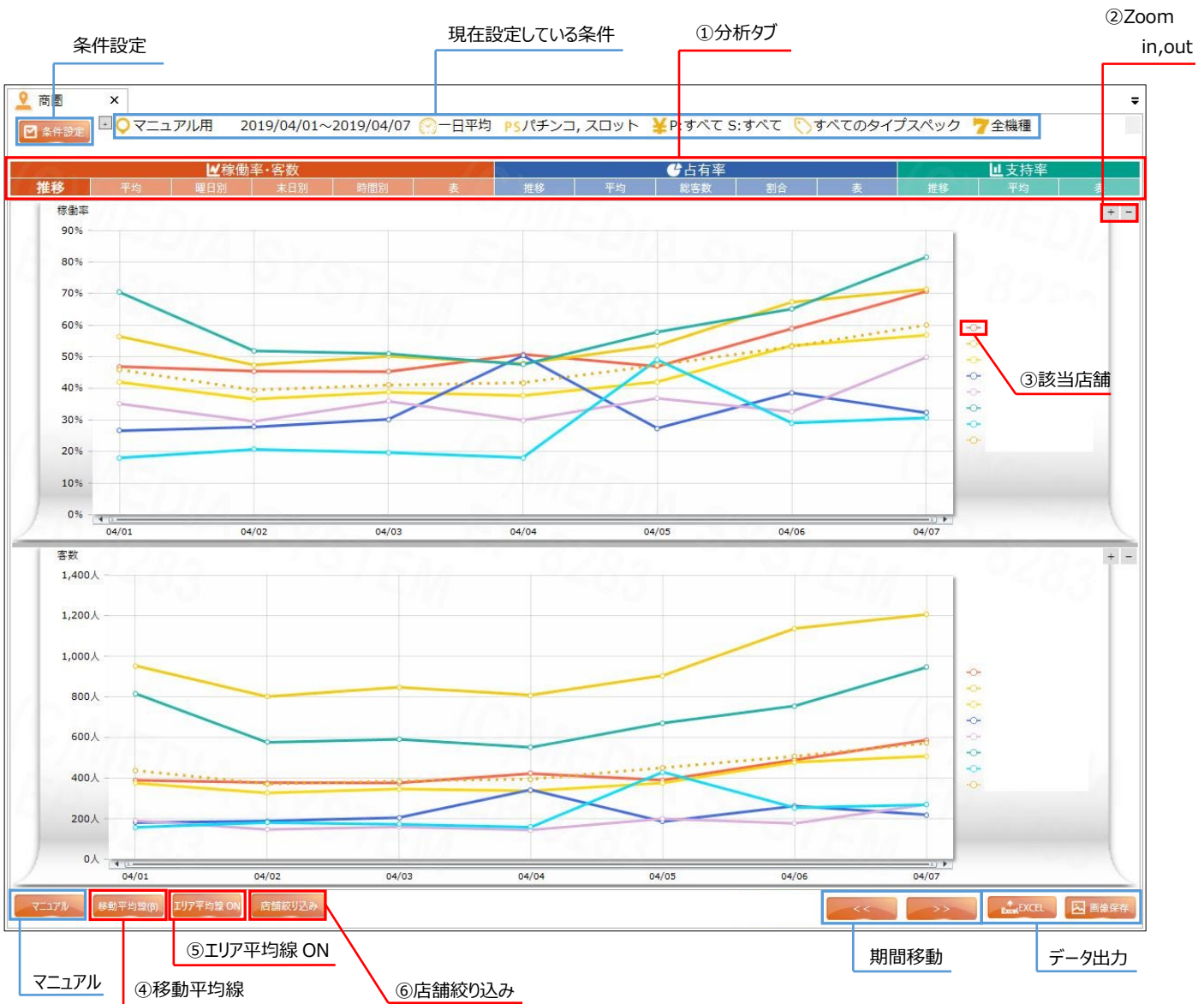


市場分析における最もスタンダードな機能です。  
 商圈内の状況を様々な角度から分析することができます。  
 稼働率／占有率／支持率／客数をグラフや表で見ることで、他店との競合状況や各店の強み弱みを把握することもできます。



## 1. 画面説明

条件設定より分析を開始すると、以下のような画面が表示されます。

### 表示される分析結果画面





		名称	説明
① 分析 タブ 切り 口	評 価 軸	稼働率・客数	稼働率と客数における各分析のグラフを表示します。【客数÷設置台数=稼働率】
		占有率	占有率における各分析のグラフを表示します。【各店舗の客数÷エリアの総客数=占有率】
		支持率	支持率における各分析のグラフを表示します。【客占有率÷台占有率=支持率】
		推移	設定した期間内のデータの移り変わりを折れ線グラフで表示します。
		平均	設定した期間内の平均値を棒グラフ(占有率のみ円グラフ)で表示します。
		曜日別	曜日別の稼働率と客数を棒グラフで表示します。
		末日別	末日別の稼働率と客数を棒グラフで表示します。
		時間別	時間別の稼働率と客数を棒グラフで表示します。
		表	それぞれのデータを表で表示します。
		総客数	設定した期間別に各店舗の客数を積み上げ縦棒グラフで表示します。
	割合	エリアの総客数を棒グラフ、各店舗の占有率を積み上げ縦棒グラフで表示します。	
② Zoom in,out		稼働率・客数においてそれぞれのグラフを拡大・縮小します。	
③ 該当店舗		それぞれのグラフが表している店舗を指します。 店名をクリックすることでグラフ表示の ON/OFF を切り替えます。	
④ 移動平均線		長期間で分析した際の数値を平均で表します。(テスト実装中)	
⑤ エリア平均線 ON		選択したエリア全体の平均値の線の ON/OFF を切り替えます。 棒グラフ：その時の平均 線グラフ：エリアの平均	
⑥ 店舗絞り込み		選択しているエリアから店舗を絞って再度分析をします。	
条件設定		分析条件を設定します。	
現在設定している条件		表示している分析の条件が表示されています。 各アイコンをクリックすることで変更も可能です。	
マニュアル		商圈機能のマニュアルを表示します。(※別ウィンドウが開きます)	
期間移動		同じ分析条件のまま、選択された期間ごとに表示範囲を移動します。	
縦軸設定		表示するデータ値の範囲を設定します。	
データ出力		分析結果を出力します。	出力項目：  

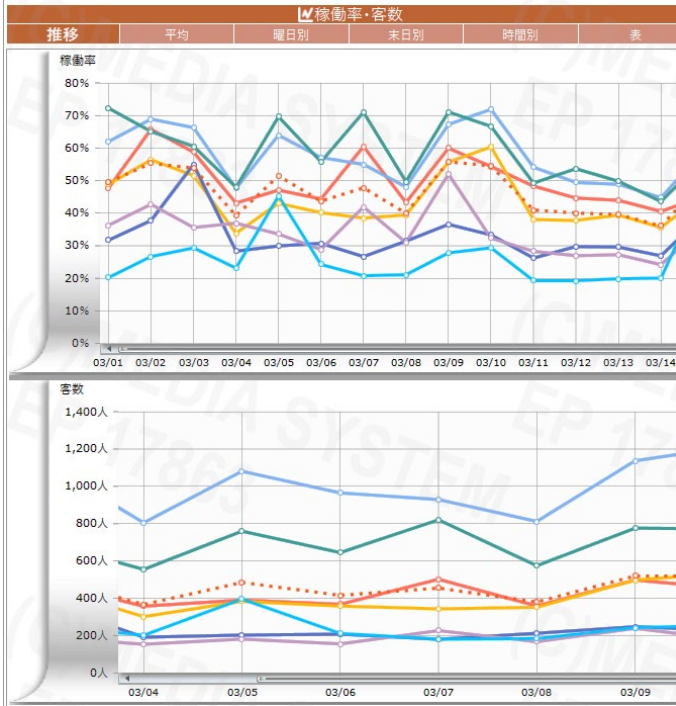
青文字項目の詳細は、「Enterprise ver.2 基本操作マニュアル」をご確認ください。



## 2. 詳細機能説明

### ①分析タブ

#### 稼働率・客数



グラフの上段が稼働率、下段が客数の表示です。

#### 【推移】

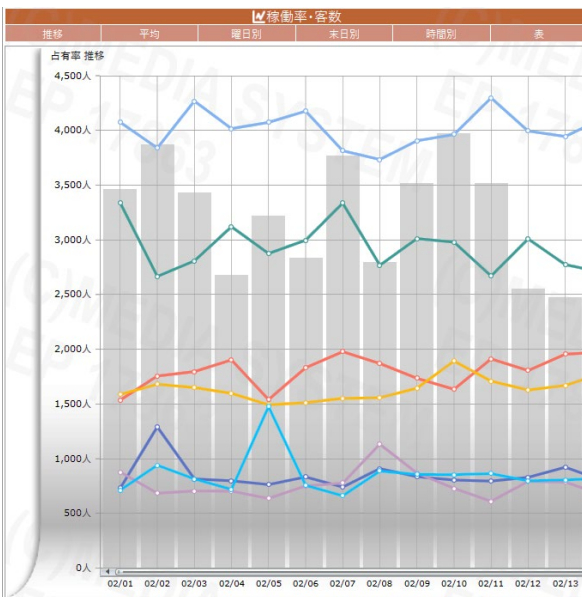
設定した条件の稼働率と客数の推移を折れ線グラフで表示しています。  
また、データの中央付近にある赤の点線のグラフは、この商圈における平均値を表しています。

#### 【平均】

指定した期間内の各店舗の平均稼働率と商圈内全体の平均値線を表示します。

※左の画像は推移のグラフです。

#### 占有率



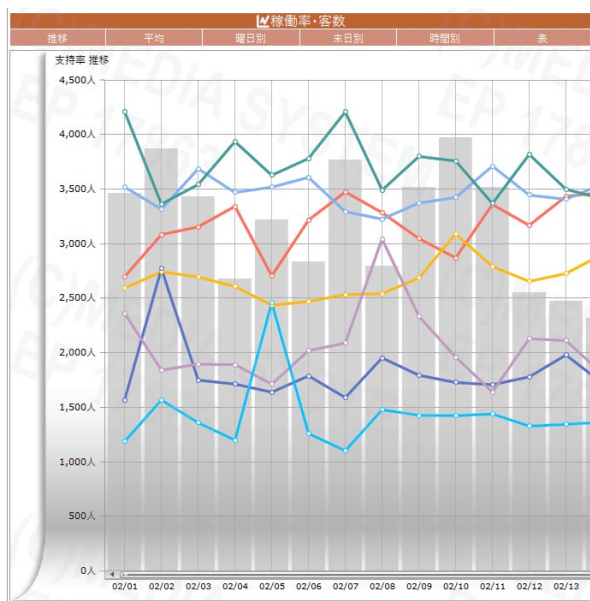
#### 【推移】

グレーの棒グラフは、グループの日別総客数。  
折れ線グラフは、占有率が表示されます。  
それぞれを比較することで、他店との相関関係を把握できます。

#### 【平均】

全体の平均を 100%としたときの、各店舗の占有率の平均を円グラフで表示したものです。

## 支持率



## 【推移】

背景の棒グラフがエリア全体の客数。  
折れ線グラフが各店舗の支持率を表します。  
設定した店舗を同じ設置台数とした場合の、  
各店舗の集客力を示すことができます。

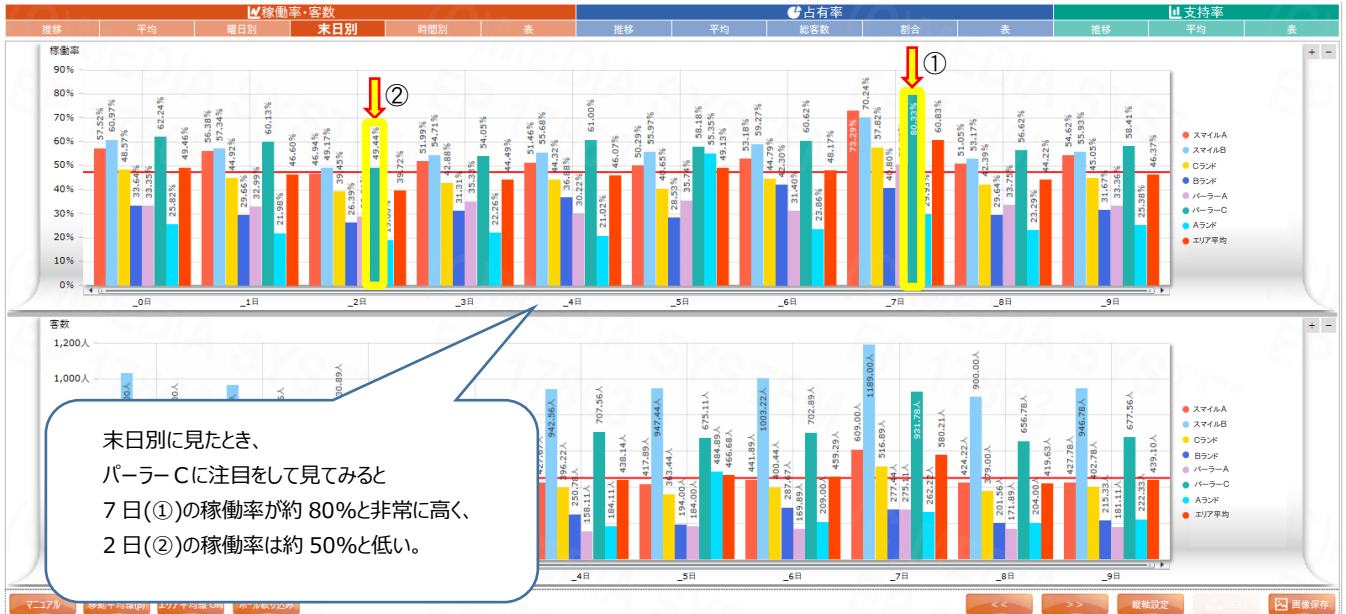
100%を平均集客力とすると、  
100%以上の店舗は他店よりも集客力があると考えられます。



### 3. 活用方法

#### 店舗の特徴の把握

末日別や曜日別の稼働率を見ることで、自店・競合店の強み、弱みを見つけることができます。



#### 商圏における競合店の相関関係を知る

商圏店メディア定義のほか、個人設定でグループ(2次・3次商圏や新規店舗など)を組むことで、より多方面からの分析ができます。

→ギャップと併用することでより詳しく調べられます

